

西岡市長の公約「6施設複合化」検証 最終報告書が議会に提出される

公約の変遷の推移

平成27年12月、蛇の目跡地に

6施設複合化(本庁舎・第二庁舎・本町暫定庁舎・前原暫定集会施設・福祉会館・図書館)

建設費は67億円



平成28年3月、庁内でプロジェクトチームを作り公約の検証を指示



平成28年5月、公約の撤回・方針変更

図書館と前原暫定集会施設を除き、4施設2機能優先。さらに防災機能優先



平成28年8月、最終報告書=6施設で109億円、4施設でも79億円



小金井で元気に

五十嵐京子通信

小金井を元気に

前小金井市議会議員

小金井市本町3-8-9-312

第42号

H28.9.15

6施設で109億円、防

災機能優先で79億円

報告書では6施設複合化には109億円がかかる」と報告されており、うち81億円は地方債(借金)による。また、庁内プロジェクトチームによる検証中の5月に公約の6施設複合化が撤回され、4施設2機能で防災機能を優先との方向転換がされたが、それでも79億円と当初の67億円を大きく超過することが明らかになった。

財政計画、スケジュール、

新旧計画の比較等なし

5月に議会から6施設複合化の財政計画、スケジュール、新旧計画の比較等示すように要望が出されていたが、最終報告には一切掲載がなく、報告書の最後に「事業の推進に当たっては他の行政需

要とのバランス等を勘案の上、総合的に判断されていくべきもの」との指摘が載ったのである。

「新福祉会館は単独で建設しなければ相当遅れる危険性」

稲葉前市長は退任する前に、本町暫定庁舎用地に単独での新福祉会館建設を進めており、平成31年度完成を示し、市民検討委員会を設置するところまで進んでいた。しかし、西岡市長になってこの計画にストップがかかり、自らの掲げた公約の検証に入っていた。最終報告書から見えてくるものは、複合化は結局新福祉会館建設計画の先送りとなり、多くの福祉会館の利用者の期待を裏切るものとなったことである。

蛇の目跡地の清掃関連

施設の整備

現在、蛇の目跡地にはリサイクル事業所を始め、ペットボトルや(裏へ)